

第61期 報告書

平成29年2月1日～平成30年1月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のピジョンからこんにちは!
- P.07 当連結会計年度の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第39回 未来の科学の夢絵画展

幼稚園・保育園の部 奨励賞

『夢がふくらむ花火』

海山道保育園(三重県)
宮本 侑佳ちゃん

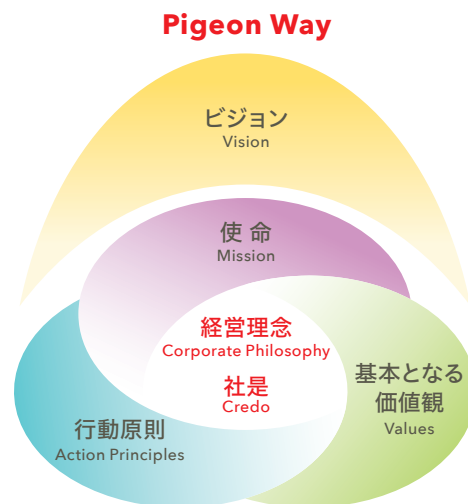


経営理念は「愛」 社是は「愛を生むは愛のみ」

Pigeon Way

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。



■ 経営理念

—強く信じる経営の根本の考え

「愛」

■ 社是

—経営理念を端的に表現したもので、各人が仕事をする際にいつも大切にし、同時に振り返るためのもの

「愛を生むは愛のみ」

■ ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿

世界中の赤ちゃんにご家族に最も信頼される育児用品メーカー
“Global Number One”

■ 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、また、何のために働くのかを約束するもの

「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、
世界中の赤ちゃんにご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

■ 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

- 誠実 (Integrity)
- コミュニケーション・納得・信頼 (Communication, Consent, Trust)
- 熱意 (Passion)

■ 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

- 迅速さ (Agility)
- 瞳の中にはいつも消費者 (Keep sight of consumers)
- 強い個人によるグローバルコラボレーション (Global collaboration among competent individuals)
- 主体性と論理的な仕事の仕方 (Leadership and logical working style)
- 積極的な改善・改革志向 (Willingness to change)

ピジョン本社の玄関前には、「幸運を招く猪」と命名された大きな彫像があります。

鼻先をなでると金運、縁談、子宝などに恵まれるとされ、多くの方々に親しまれ、今では鼻先がピカピカになっています。

代表取締役社長

山下 茂

Q. 第6次中期経営計画の
初年度の業績を総括してください。

A 2018年1月期は、主要な国内ベビー・ママ事業、中国事業、海外事業が順調に推移した結果、売上高は前期比8.4%増の1,025億円となりました。利益面では売上原価率が改善したことにより、営業利益が同21.2%増の194億円、経常利益が同22.3%増の201億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同30.5%増の145億円となりました。おかげさまで、売上高は9期連続で過去最高を更新し、初の1千億円超えに、営業利益は7期連続で過去最高を更新することができました。第6次中期経営計画の最終年度(2020年1月期)目標である売上総利益率50%、営業利益200億円に迫る数値を初年度であげることができ、前倒しでの目標達成が見込める状況となりました。

Q. 事業ごとに進捗状況と
今後の施策を教えてください。
まず、海外事業はいかがですか。

A 海外事業でのランシノブランドの展開では、主力の米国において、当社の電動さく乳器が、これまでの小売チャ

ネルに加えて、耐久性医療機器(DME)として新しい販売ルートで育ってきています。また、ドイツをはじめとする欧州や、中国においても順調に売上を伸ばしています。

ピジョンブランドとして展開する地域に関しては、昨年11月に、インドネシアの持分法適用関連会社PT PIGEON INDONESIAを連結子会社化しました。インドネシアは年間約420万人の新生児が誕生する成長市場として注力している市場で、子会社化を機に、さらに事業拡大を推し進めていきます。そして、年間新生児数が中国を上回るインドにおいて、当初初めて黒字化を果たしました。インドでのさらなる事業拡大に向けて、販売店舗数を、現在の約3万店から第6次中計下では5万店へと拡大させていきます。また、第6次中計で新規開拓市場と位置付けているアフリカ市場についても、代理店の開拓を進めています。

海外事業については、2019年1月期より、ランシノブランドで展開するランシノ事業本部と、アジアを中心としてピジョンブランドで展開するシンガポール事業本部とに分割することになりました。それぞれの事業規模が大きくなってきたことも一因ですが、各事業本部を独立させることで意思決定のスピードを速めるとともに、それぞれの市場の消費者インサイト(購買意欲や消費活動)に基づいた商品開発のさらなる迅速化も図っていきます。なお、シンガポール事業には、中国事業の管轄範囲(中国・韓国・台湾・香港・フィリピン・ロシア他)を除いたアジア各国と中東ならびにオセアニアが含まれます。

■ Q. 中国事業はいかがですか。

A 当社の成長ドライバーとして非常に重要な中国事業では、2016年に長年続いた「一人っ子政策」が撤廃され、当期はこの政策変更による影響を見極める1年となりました。振り返ってみますと、この1年間で中国の出生数は減少したとの報道も一部あるなど、必ずしもこの政策変更が当社にとっての追い風にはなっていないという市場環境でした。しかし、そうした中でも、当期の中国事業は、哺乳器・乳首といった商品の好調を背

景に、売上は前期比13.0%の伸びを示しているほか、セグメント利益も16.3%増加するなど、大変力強く事業拡大が続けています。中国では80年代、90年代生まれの若年層を中心にEコマース(電子商取引)の販売が急拡大しており、当社でも、インターネット通販中国最大手のアリババ集団や京東集団等との連携を通じてデジタルマーケティングをさらに強化して、事業の拡大を加速させていきます。

■ Q. 国内の3事業はいかがですか。

A 国内ベビー・ママ事業は、前期に続き訪日客のインバウンド需要がさらに伸びてきており、万全の供給態勢を整えて販売機会の拡大に臨んでいます。また、ベビーカーを中心とする大型商品も、競争が激化する中で健闘しています。当社の基幹商品である哺乳器については、競合からの挑戦を受けていますが、これまでの安全・安心といったブランドイメージに加え、楽しさも加わる商品を市場に投入することで、盤石な地位を確立していきます。

子育て支援事業は前期比2.0%増と順調に拡大しました。今後も、事業所内保育や幼児教育を核とし、ピジョンらしい質の高い保育を追求していきます。

ヘルスケア・介護事業では前期比2.3%の増収となりました。第6次中計最終年度の目標達成に向け、今後新商品を投入し事業の拡大を図ります。

■ Q. 今後の課題をどのように認識していますか。

A 第6次中計は、第7次中計以降に売上高の二けた成長を持続させるための準備期間と位置付けており、当中計下での売上CAGR(年平均成長率)の想定を5.1%とする一方で、売上総利益率の改善に注力しています。総利益率の改善は速いペースで進んでいますが、当社が「新旧・三種の神器」と呼ぶ重点商品6カテゴリ(「哺乳器・乳首」「カップ」「おしゃぶり・歯がため」

に、「母乳関連商品(さく乳器など)」「スキンケア・トイレタリー・洗剤」「電気製品(電気消毒器など)」を加えたもの)においては、基幹の哺乳器は順調に伸長しているものの、他のカテゴリはさらなる強化が必要です。また、将来の事業拡大につながる国内での大型商品や中国での紙おむつといった地域展開商品に関しても、さらなる伸長を期待しています。

■ Q. 来期の業績見通しを聞かせてください。

A 2019年1月期は、中国事業、シンガポール事業、ランシノ事業、国内ベビー・ママ事業等での伸長が牽引し、売上高は前期比4.3%増の1,070億円、営業利益は同5.1%増の204億円、経常利益は同1.4%増の204億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益を計上した2018年1月期に比して2.9%減となる141億円を計画しています。また、第6次中計で注力している売上総利益率については、当期の49.3%から1.8ポイント上昇の51.1%と、1年前倒しで第6次中計目標の50%を達成する見込みです。

■ Q. 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 株主の皆様への当期末の配当につきましては、当期の業績を勘案した結果、直近の期末配当予想に対して普通配当4円増額となる、1株当たり35円(前期末から7円の増配)とさせていただきます。年間配当は、中間配当金の1株当たり31円と合わせて、前期比13円増配の1株当たり66円となります。ピジョンは今、グローバルで拡大が見込める市場の中で飛躍的な成長を果たすために、堅実に経営基盤を固めている途上です。第6次中計では、「各営業期における前期比増配、連結総還元性向55%程度」としていますが、今後も皆様に安心して中長期での成長をご覧いただけるよう、引き続き邁進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国内ベビー・ママ事業



- 哺乳関連用品
- 女性ケア用品
- 離乳関連用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- スキンケア用品
- ベビー大型用品

● 事業環境と当社の強み

2017年の日本における出生数は94.1万人（厚生労働省「平成29年人口動態統計の年間推計」）と、2016年の97.6万人から3万5千人減少しました。そのような中、半世紀にわたる哺乳研究や乳幼児発達研究を基に、赤ちゃんの成長過程を深く掘り下げ、育児の“お困りごと”を見出すことから開発した多数の高品質な商品を生み出してきたところに、ピジョンブランドの優位性があります。ピジョンブランドは、業界でのリーディング・カンパニー、そして極めて強いリーディング・ブランドとして広く認知されています。さらに、今後はベビーカーを中心とした大型商品にも注力し事業を拡大していきます。



(億円)	60期	61期
外部顧客への売上高	318	338
事業セグメント間の内部売上高	—	—
売上高 計	318	338



子育て支援事業



- 保育サービス
- イベント保育サービス
- 事業所内保育運営受託
- 幼児教育サービス
- 託児

● 事業環境と当社の強み

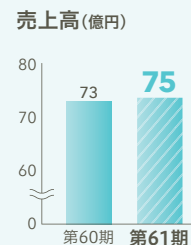
子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安全・安心・信頼」のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進し、国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後も、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図ります。



(億円)	60期	61期
外部顧客への売上高	73	75
事業セグメント間の内部売上高	—	—
売上高 計	73	75



ヘルスケア・介護事業



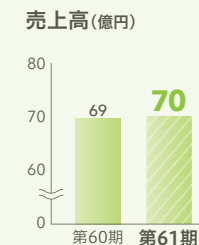
- 介護用品
- 老化予防用品
- 介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で急速に高齢化も進み、団塊の世代（1947年から1949年に生まれた世代）が65才以上となった2016年には、高齢者人口は3,461万人（総務省統計局）、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は27.3%と、4人に1人が高齢者という時代になりました。増え続ける介護給付費用に対し、国の介護制度も、2015年を機に、介護保険の自己負担の増加や特別養護老人ホームへの入居条件の引き上げなど、介護の形態を施設から在宅介護へとする方針の具現化が進みました。これらを背景に、市場規模は着実に拡大しており、当社は引き続き、競争優位性のある新商品投入や介護サービスの品質向上などの施策を徹底していきます。



(億円)	60期	61期
外部顧客への売上高	69	70
事業セグメント間の内部売上高	—	—
売上高 計	69	70



海外事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

北米 …アメリカ、カナダ 他
欧州 …イギリス、ドイツ、ベルギー 他
中近東 …アラブ首長国連邦、トルコ 他
アジア …シンガポール、インド
 中国(ランシノ上海) 他
その他 …南アフリカ、南米 他

● 事業環境と当社の強み

海外事業については、展開エリアとして、北米(アメリカ・カナダ他)、欧州(イギリス・ドイツ他)、中近東(アラブ首長国連邦・トルコ他)、アジア(シンガポール・インド他)、その他(南アフリカ・南米他)があります。米国の出生数は、経済先進国の中では比較的安定した水準にあり、ピジョンは、米国および欧州への営業展開の基盤として、2004年4月に米国ヴァージニア州に拠点を持つ LANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」) を100%グループ会社化し、イギリス・ドイツ等欧州への事業拡大を進めています。また、2014年1月から哺乳器の本格的な販売を開始するなど、商品カテゴリーの拡充を図りながら、ブランド強化を進めていきます。一方、アジアではランシノ社による中国での販売も好調に推移したほか、インドでの流通体制の構築や販売店舗の拡大を推し進めています。なお、2018年1月より、欧米を中心にランシノブランド事業を担う「ランシノ事業」と、ASEAN・中東諸国を中心にピジョンブランド事業を担う「シンガポール事業」に分割いたしました。



中国事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

中国、韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア 他

● 事業環境と当社の強み

ピジョンは、2017年に中国市場への本格的参入15周年を迎えました。年間出生数が1,500万～1,700万人で日本の15～17倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳器・乳首、トイレタリー、高級スキンケア商品を中心に新しいライフスタイルの提案を実施しています。また、現地に根付いているパートナー企業の販売網を通じてピジョンブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ています。中国ではすでに500種類以上の商品を市場に展開しており、沿岸主要都市部では新富裕層の増加による高級志向の需要に応じて、さらに高価格帯の商品を提供しています。ここへきて経済成長率の鈍化は見られるものの、これまで非常に速いスピードで経済成長を続けてきた中国市場において、高品質と安定した価格による対面販売の徹底に加え、消費者のEコマースへの購買シフト対応にも力を入れることでさらなる事業拡大を進めていきます。



※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨てております。



ところ変われば育児も変わる。

世界各国の育児事情 vol.8

Indonesia

■ 女性の活躍する国、インドネシア

女性が大統領に就任した実績もあるなど、女性の社会進出がめざましい国、インドネシア。この国では、結婚や出産を理由に退職する女性は少なく、出産に際しても、通常3か月の産休取得後、ほとんどの人が復職します。日本のような国民健康保険制度がないため、出産費用は実費ですが、会社の健康保険等でその大半は補助されるほか、産休期間中も給与が100%支給されるケースが多いようです。首都ジャカルタ市内では、産後の職場復帰のために家庭でフルタイムのベビーシッターを雇うのも一般的。ベビーシッター1人につき日本円換算で月額6,000円～10,000円と、特別裕福な家庭でなくとも、1～2名の家政婦さんを雇う文化が深く根付いています。今でも残る風習として、脚がO脚にならないようにと、新生児がタオルでぐるぐる巻きにされている姿も見られます。



■ 日本発の母子健康手帳がインドネシアで大活躍！

ママにとって、出産・育児の必需品の一つと言えば、母子健康手帳。妊娠初期から乳幼児期まで母子がともに継続ケアを受けるための健康記録として、母子健康手帳はインドネシアでも全土にわたって普及しています。実はインドネシアでの母子手帳普及の裏には、日本からの支援・協力がありました。1990年代初めに、当時ASEAN諸国の中でも母子保健の状況が極めて低い水準にあったインドネシアから1人の医師が来日し、日本の母子健康手帳制度に深く感銘を受けたことがきっかけとなって、同国内での導入に向けて動き出しました。インドネシア全州に導入が実現したのは2000年代半ば。今では毎年、日本の5倍の約500万冊の母子手帳が印刷・発行されています。インドネシアでの導入事例が第1号となって、その後、世界約40か国に、日本生まれの母子手帳が広がり、世界中で900万冊もの母子手帳が毎年発行されています。

世界のピジョンからこんにちは！

PT PIGEON INDONESIA

ピジョン インドネシア

- 設立 ----- 1995年
- 取締役社長 ----- KANDHAGA DHARMA GATHA YUWONO
- 所在地 ----- インドネシア・バンテン州セラン



- 資本構成 ----- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 65%
PT. MULTI ELOK MODERN COSMETIC LTD. 35%
- 事業内容 ----- 哺乳器・乳首、マグマグ等の製造・販売
- 従業員数 ----- 452名
(2017年12月末現在)

■ 急拡大するインドネシア市場で、高品質な商品を生み出し成長していきます。

世界第5位の人口を有するインドネシアは、2017年には人口2.6億人を超え、年間出生数も約420万人と人口拡大が続いています。このことから、インドネシアが非常に大きな成長ポテンシャルを秘めた市場であることがわかりただけなのかと思います。

現在、当社では、哺乳器・乳首、おしゃぶりなどを製造しています。これら商品のインドネシア国内での売れ行きは大変好調で、哺乳器・乳首は国内トップシェアを誇っています。好調な販売を背景に、2018年も哺乳器・乳首の増産を続けていきます。インドネシアには、依然、外資に対する規制も多く残っていますが、今後のさらなる事業拡大に向けて、製造商品を増やしていくことなどを考えています。

当社は1995年に、ピジョンと、ピジョンのインドネシア販売代理店のグループ企業PT MULTI ELOK MODERN COSMETIC LTD.社との合併会社として設立されました。2017年に資本構成が変わり、ピジョングループの連結子会社となったことを機に、当社内では、全社員に対して「Pigeon Way Passport」を配布し、人事部門を中心にした

「Pigeon Way」研修チームの編成、毎朝の「Pigeon Way」朗読などの取り組みを通じて、社内における「Pigeon Way」の浸透に力を入れています。私自身も、社員一人ひとりの気持ちを大切にしながら、ピジョングループとしての社会的責任を果たすために、日々精進しています。今後も引き続き、消費者の皆様にご喜ばれる高品質な商品の製造に、誠心誠意努めてまいりますので、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



社屋全景



取締役社長
KANDHAGA DHARMA
GATHA YUWONO

当連結会計年度の経営成果

売上高は、日本、中国を中心に販売実績が好調に推移したことにより、1,025億63百万円(前期比8.4%増)となりました。利益面においては、売上原価率が前期比で約2.1ポイント改善したことなどで、営業利益が194億12百万円(同21.2%増)、経常利益は201億29百万円(同22.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は145億15百万円(同30.5%増)となりました。

なお、当期より、これまで調整額に含めていた配賦不能営業費用の中の研究・開発部門に関わる費用を各報告セグメントのセグメント利益に含めて計上し、前期比較においても変更後の算定方法に基づき算定した数値を用いて比較しています。

国内ベビー・ママ事業

売上高は338億41百万円(前期比6.3%増)、セグメント利益は59億28百万円(同23.0%増)となりました。訪日外国人等によるインバウンド需要が続く中、新商品として昨年2月にベビー用としては初の手づくりアイス「赤ちゃんのぶちアイス」を発売したほか、6月には多くのお客様に高い満足度をいただいているシングルタイヤを搭載したベビーカー「Runfee(ランフィ)」をリニューアル発売、8月には吸収力をアップさせモレずにサラっと使用できる「母乳パッドフィットアップ® サラっと超吸収」を発売、また12月には2017年度グッドデザイン賞を受賞した「母乳実感® 哺乳びん my Precious」を発売し、順調に売上および市場シェアを拡大しています。重点カテゴリであるベビーカーについても引き続きシェアが好調に推移しています。また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「プレママクラス」、母子に寄り添う子育て

中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのビジョンセミナーなどを当期において32回開催し、合計で約3,000名の方にご参加いただきました。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援するサイト「ビジョンインフォ」においても、お客様がさらに使いやすくなるよう改善を進めています。

子育て支援事業

売上高は75億41百万円(前期比2.0%増)、セグメント利益は2億18百万円(同3.6%増)となりました。事業所内保育施設については、4箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら運営を行っています。

ヘルスケア・介護事業

売上高は70億58百万円(前期比2.3%増)、セグメント利益は4億68百万円(同5.0%増)となりました。小売店および介護施設への営業活動のさらなる強化、介護サービスの品質向上などの施策実行を徹底しています。

海外事業

売上高は254億27百万円(前期比10.3%増)となり、セグメント利益は売上総利益率の改善に加え、販管費の効果的な使用もあり、58億41百万円(同20.1%増)となりました。ランシノ社を中心に事業展開する北米・欧州においては、主力である乳首クリーム、さく乳器やミルクバッグ等の授乳関連用品が引き続き順調に売上を拡大しました。北米では新

規ルート(DMEチャネル)での売上が拡大、また2016年よりランシノ上海が進めている中国での販売も引き続き順調に推移しています。また重点市場のインドにおいて、配荷店舗の拡大など積極的な施策を行うことで、売上、利益ともに伸長してきており、今後もさらなる事業拡大に向けた取り組みを進めていきます。

中国事業

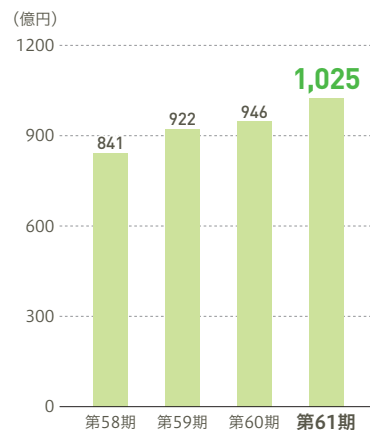
売上高は、主力商品の哺乳器・乳首、スキンケア商品の販売が好調に推移し、344億94百万円(前期比13.0%増)、セグメント利益は97億16百万円(同16.3%増)となりました。昨年5月にディズニーキャラクターのデザインを施した哺乳器、カップやおしゃぶり等を新発売し、順調に売上が拡大しています。今後もさらなる拡大が見込まれるEコマースを特に旗艦店を中心に取り組みを強化するとともに、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を活用した直接的な消費者とのコミュニケーションの活性化、また店頭販促や病産院活動等のオフライン活動の強化も引き続き実施し、お客様との接点を増やし、事業拡大に向けた取り組みを進めていきます。

その他

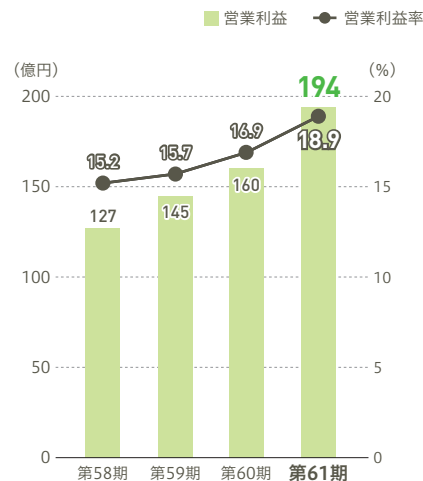
売上高は12億89百万円(前期比1.3%増)、セグメント利益は1億26百万円(同22.2%減)となりました。

主な経営指標

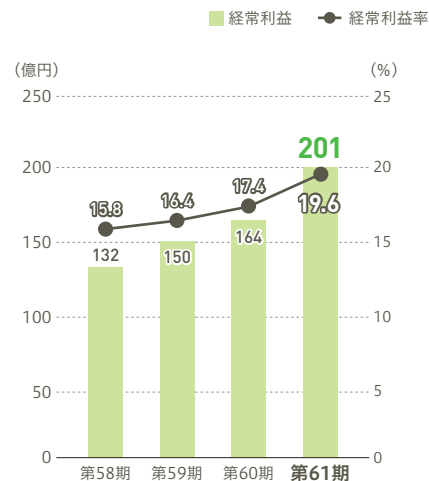
売上高



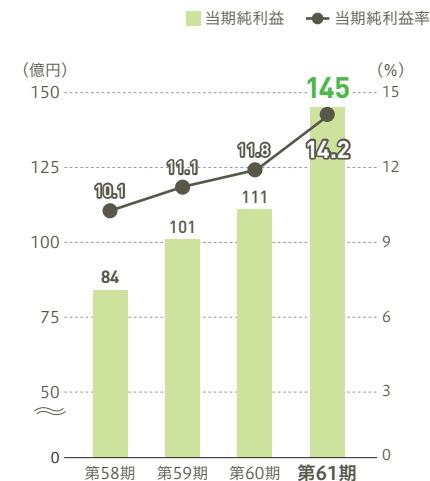
営業利益 / 営業利益率



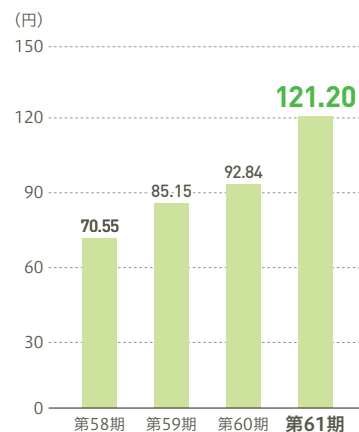
経常利益 / 経常利益率



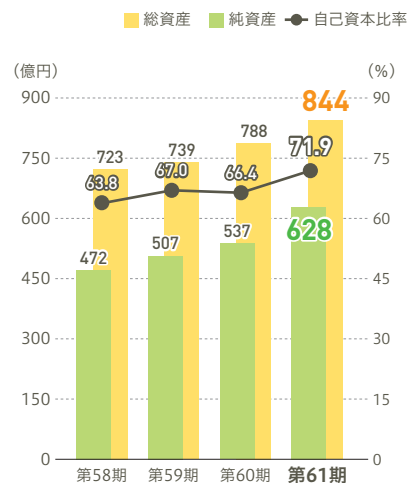
親会社株主に帰属する当期純利益 / 当期純利益率



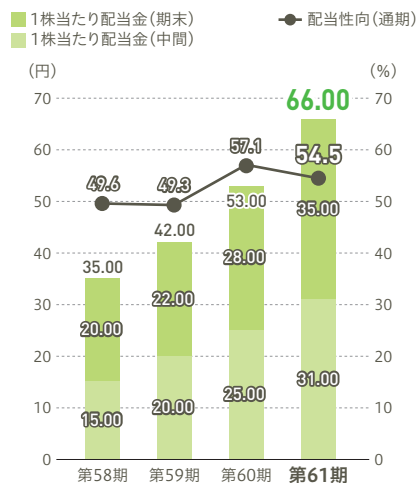
1株当たり当期純利益 (EPS)



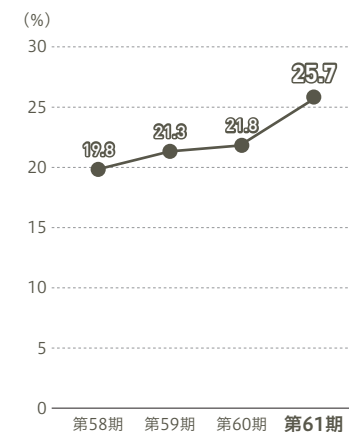
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



1株当たり配当金 / 配当性向



自己資本当期純利益率 (ROE)



トピックス

『さく乳器 母乳アシスト』 マザーズセレクション大賞受賞

『さく乳器 母乳アシスト』が2017年11月に、ママたちの投票のみで選ばれる「マザーズセレクション大賞 2017」(主催:特定非営利活動法人日本マザーズ協会)を受賞しました。手軽な「手動タイプ」、自動で簡単にさく乳ができる「電動タイプ」など、計3タイプから自分に合ったさく乳器を選べる本商品は、母乳のさく乳がスムーズに行えるなど、さまざまなシーンで母乳育児をサポートしていることを、多くのママたちにご支持いただきました。



ピジョン上海とアリババグループ、ECビジネスでの意向書締結

2017年12月、中国最大手のインターネット事業者アリババグループの天猫母嬰(ベビーママ)事業とピジョン上海が、戦略的な協力契約に向けて、意向書を締結しました。中国市場では、90年代生まれの若い消費者層を中心にEコマース利用が増加しており、ピジョンの中国でもEC売上比率が4割を超えてきています。その中でも、アリババグループが展開する中国最大のECサイト「T-mall(天猫)」を通じた販売は急速に拡大しています。アリババグループとの意向書締結を通じて、同社の持つ豊富なビッグデータを活用し、ピジョンブランドのさらなる向上と事業規模の拡大を目指します。

PT PIGEON INDONESIAを 完全連結子会社化

2017年11月、インドネシアの持分法適用会社PT PIGEON INDONESIAが連結子会社となりました。ピジョンでは第6次中期経営計画で、インドネシア市場を育成・強化すべき成長市場と位置付けています。同会社は、インドネシア国内および周辺海外市場向けに哺乳器・乳首等の商品を生産しています。インドネシアの市場環境等を適切に把握しながら、商品供給体制の拡充をより迅速に進めていきます。



(左)アリババグループ天猫母嬰事業 杜宏総経理
(右)ピジョン株式会社 取締役副社長北澤憲政

Corporate Profile

会社概要 (平成30年1月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社984名 連結4,306名
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200(代表)

役員 (平成30年4月26日現在)

取締役最高顧問	仲田 洋一
代表取締役会長兼取締役会議長	大越 昭夫
代表取締役社長	山下 茂
取締役副社長 (中国事業本部兼シンガポール事業本部兼ランシノ事業本部担当兼 PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.代表取締役)	北澤 憲政
取締役専務執行役員 (経営企画本部兼経理財務本部兼人事総務本部兼監査室担当)	赤松 栄治
取締役常務執行役員 (お客様コミュニケーション本部兼開発本部兼品質管理本部兼ロジスティクス本部担当)	板倉 正
取締役常務執行役員 (ヘルスケア・介護事業本部兼国内ベビー・ママ事業本部兼子育て支援事業本部担当)	倉知 康典
取締役上席執行役員 (ランシノ事業本部兼 LANSINOH LABORATORIES, INC.代表取締役社長)	Kevin Vyse-Peacock
取締役 (社外)	新田 孝之
取締役 (社外)	鳩山 玲人
取締役 (社外)	岡田 英理香
常勤監査役	甘利 和久
常勤監査役	橋本 伸行
監査役 (社外)	西山 茂
監査役 (社外)	出澤 秀二
上級執行役員 (シンガポール事業部長兼 PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.代表取締役社長)	仲田 祐介
執行役員 (お客様コミュニケーション本部長)	小原 裕子
執行役員 (経営企画本部長)	松永 勉
執行役員 (経理財務本部長)	牧 裕康
執行役員 (人事総務本部長)	石上 光志
執行役員 (開発本部長)	笠原 かほる
執行役員 (開発本部副本部長)	筒井 克志
執行役員 (品質管理本部長)	田島 和幸
執行役員 (国内ベビー・ママ事業本部長)	浦狩 高年
執行役員 (中国事業本部長兼 PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.取締役社長)	矢野 亮
執行役員 (PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.代表取締役)	賀来 健
執行役員 (ランシノ事業本部副本部長兼 LANSINOH LABORATORIES, INC.取締役)	松島 浩司
執行役員 (子育て支援事業本部長兼ピジョンハーツ(株)代表取締役社長)	鶴 孝則
執行役員 (ロジスティクス本部長)	西本 浩

主要事業所（平成30年1月31日現在）

事業所	茨城県稲敷郡阿見町
物流センター	茨城県常陸太田市 兵庫県神崎郡神河町
研究所	茨城県つくばみらい市
営業拠点	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡

次の21社を連結の対象にしています。

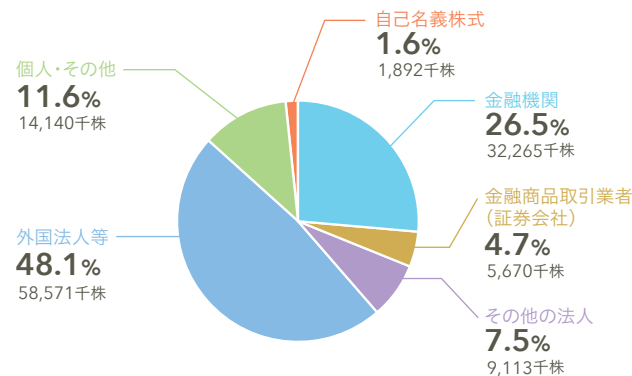
- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON MALAYSIA (TRADING) SDN. BHD.
- PT PIGEON INDONESIA
- PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- LANSINOH LABORATÓRIOS DO BRASIL LTDA.
- LANSINOH LABORATORIES BENELUX
- LANSINOH LABORATORIES SHANGHAI
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

株式の状況（平成30年1月31日現在）

発行可能株式総数	360,000,000株	
発行済株式の総数	121,653,486株	
株主数	13,528名	
自己株式	1,892,329株	
大株主（上位10名）	持株数 （千株）	持株比率 （%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	6,680	5.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	5,781	4.8
JP MORGAN CHASE BANK 385164	3,300	2.8
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	3,077	2.6
仲田 洋一	3,038	2.5
ワイ. エヌ株式会社	3,000	2.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	2,860	2.4
上田八木短資株式会社	2,671	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	2,304	1.9
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JAS-DEC ACCOUNT	1,951	1.6

※持株比率は自己株式（1,892,329株）を控除して計算しております。

株式分布状況（所有者別：千株）



株主メモ

証券コード	7956
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領株主確定日	1月31日
中間配当金受領株主確定日	7月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 （お問合せ先郵便物送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 （通話料無料 平日9:00～17:00） ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://www.pigeon.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよびお届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <https://www.pigeon.co.jp/>
IR情報トップページ <https://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品のご紹介

2017年度グッドデザイン賞受賞 「母乳実感® 哺乳びん my Precious」新発売

2017年12月、「母乳実感® 哺乳びん my Precious」を新発売。本商品は、ロングセラーの哺乳びん「母乳実感」の機能はそのままに、美しいフォルムと授乳ライフがさらに明るく楽しくなるかわいいデザインを採用し、容量も従来の160mlに加え、生まれてすぐの赤ちゃんにもぴったりの80mlのコンパクトサイズもご用意。「2017年度グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)も受賞しています。



「ピジョン薬用全身泡ソープ (ももの葉)」新発売

2018年2月、「ピジョン薬用全身泡ソープ(ももの葉)」を新発売。保湿成分ももの葉エキスと肌あれを防ぐ有効成分(グリチルリチン酸)を配合した本商品は、デリケートな赤ちゃんのお肌にもやさしく、汗も汚れもすっきり洗い流すことのできる新しい視点のスキンケア商品です。2014年の発売以来、累計出荷本数430万本を突破した、「ピジョン薬用ローション(もも)」と合わせてご使用いただくことで、「洗って、うるおす」の2ステップで赤ちゃんの肌あれを防ぎ、肌をすこやかに保つことができます。



出産後のママの体型リフォーム インナー4商品を新発売

2018年2月、出産後のママの体型を戻すためのリフォームインナー「出産したら締める骨盤ベルト」「トータルシェイプガードル」「おなかシェイパー」「はくだけ骨盤ガードル」の4商品を新発売。同時に、産後リフォームインナーのパッケージをリニューアルしました。4商品の中でも助産師の先生と共同開発した「出産したら締める骨盤ベルト」は、骨盤の形に合わせたベルトと軽量パッドで骨盤をぴったりささえ、産後のからだをしっかりサポートする出産準備のマストアイテムです。



コーポレートサイトもご覧ください。

業績、財務、株式情報等を拡充し、さらに見やすくなったサイトをぜひご利用ください。



<https://www.pigeon.co.jp/>

表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

『夢がふくらむ花火』 海山道保育園(三重県) 宮本 侑佳ちゃん
昼間でもきれいに見える花火。
魚に願いをすれば好きな形の花火が広い空に上がります。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。



ピジョン株式会社